

クルクミンで大腸がんを予防しよう！

クルクミンで、大腸がんやポリープの発生を予防する臨床研究 (J-CAP-C)にご参加ください。

- クルクミンはカレーのスパイス中に含まれるポリフェノールです。機能性食品の1つであり、副作用は極めて少ないと考えられています。
- 最近の研究で、クルクミンが前がん病変である大腸ポリープ(腺腫)の予防に有効である可能性が明らかとなりました。
- 私たちは内視鏡で大腸腫瘍を摘除された患者様に対し、大腸がんの発生を予防するためにクルクミンを服用していただく臨床試験を行っています。
- “大腸ポリープを摘除されたかた”は、再度ポリープを発生するリスクが高いので、ぜひご参加ください。
- クルクミンは、その他にも肺癌や膵癌などに対する効果、肝機能障害の改善効果、虚血性疾患、心不全の改善効果などが報告されています。

次の方が対象となります

- 大腸腫瘍(腺腫、早期大腸がん)を摘除した方。
- 30歳～39歳、70歳～75歳の方。(40歳～69歳の方は参加不可)
- 主治医が現在の症状、常用薬などを判断し、試験の参加が可能と判断した方。



ご興味のある方は主治医へお問い合わせください。

臨床試験の内容

- 参加して頂く患者様は全国で600名を予定しています。
- 1日2回高吸収クルクミンまたは無機能食品(クルクミンの入っていないカプセル)を服用します。服用期間は2年間です。
- 無機能食品群になった場合には試験終了後に半年分のクルクミンを無料提供します。
- 服用2年目と4-5年目に大腸内視鏡検査を受けていただきます。
- クルクミン、無機能食品の費用は無料ですが、大腸内視鏡検査や血液検査などの医療費は通常健康保険内での診療となります。

研究資金: 農林水産省研究費
株式会社セラバリュース

研究組織: J-CAP-C 研究グループ (全国30施設)

研究責任者 高山哲治 (徳島大学)

連絡先: J-CAP-C事務局 TEL:06-6202-5444

(京都府立医科大学分子標的癌予防医学 大阪研究室)
各病院の担当医